

## 長野県中小企業振興審議会 概要

日時：令和4年7月12日（火）14:00～16:00

場所：長野県工業技術総合センター精密・電子・航空技術部門

内容：

### 1 開 会

### 2 挨拶

### 3 会長互選

→会長に向山委員を選出、会長代理に佐藤委員を指名

### 4 議 事

#### (1) 中小企業振興策の実施状況について

##### ア 長野県ものづくり産業振興戦略プランの中間評価

##### イ 令和3年度の中小企業振興策の実施状況

(向山会長) KPI の評価について、県が行う評価が書かれているが、地域の産業界による評価の視点が無いように思われる。審議会として評価はしないのか。

→本日、皆様からこの実施状況を踏まえ評価をいただきたいと考えている。

(向山会長) 2020年のKPIですらでていない。民間であれば3月期決算の報告を4月の中旬には行う。結果が分かるまで時間のかかる指標はKPIとしてふさわしくないのでは。

→今後は、算出までに時間のかかる指標とすぐに結果が分かる指標を組み合わせたい。

(赤田委員) 3ページ目の9番目のヘルスツーリズムに×がついており、地元でもあるので気になっている。企業側の評価は難しい部分もあると思うのが、この審議会の中で確認することはできると考えている。

→ヘルスツーリズムについては、中核企業が事業から撤退してしまったのが主な要因。

(北沢委員) 支援が各業界に本当に伝わるようにしてほしい。カラマツのプロジェクトが非常に大切だと思っている。神奈川県で三井ホームが木造のマンションを作っている。信州カラマツが床材に使われているが、遮音性が高く評価が高い。もっと力を入れてほしい。

(向山会長) 重点施策6については、参加者数だけでなく参加者がどうなったのか、量の評価だけでなく質の評価が必要。

→客観的な量の評価は引き続き必要であるが、質の評価においてもアンケート等により把握できないか検討してまいらる。

(百瀬委員) 社内にマイスターをとっている人がおり、派遣先の企業からとても好評で良い制度だと思う。このように、県の施策を受けて実際に現場でどういう反応があるのかを取り上げる工夫をしても良い。

(向山会長) 民間のPDCAを取り入れてほしい。県側から見た評価、企業側から見た評価を踏まえて、課題の洗い出しと改善の作業を行ってほしい。

～以下WEB復旧後～

#### ウ 工業技術総合センターの取組について

(向山会長) 中小企業の何割くらいが工技センターを使っているのか。また県内企業による活用促進について審議会の役割はあるか。

→以前は2～3割のイメージ。製造業以外の皆様も含め、あらゆるチャンネルの中でPRをいただきたい。

## (2) 次期 産業振興プランについて

(平林委員) これまでのプランと次期プランの継続性について伺いたい。また、行政には地域の枠があるが、民間企業には関係ない。その絡みをどう考えるのか。

→現行プランを踏襲しつつ、改善すべきことを見直していく。国の支援体制もある中で、県としては県産業の特徴に合わせた分野で支援を行ってまいる。

(佐藤委員) 人が増えない中、納期等を守るためには残業せざるを得ない。一方で働き方改革の中で残業時間も決まっており、綱渡り状態。人材確保について一緒に考えて欲しい。

(石井委員) 先に百瀬委員から話のあった高齢者マイスターの活用は非常に良い。県も後押しをお願いしたい。コロナ関係の融資の返済が始まるが、仕事がないため返せないということが無いよう協力を願いたい。

(伊藤委員) 返済は始まるが、足元の財務状況を把握する中で、資金繰りに無理のない範囲での対応を確認しながら進めるので、いきなり倒産するような話にはならない。人材不足(特に経営人材)については、金融機関も関連事業会社と連携して支援していくので、県とも連携をお願いしたい。

(向山会長) リアルタイムの状況を反映していくマネジメントが必要だが、これには民間を入れないと難しい。策定後のオペレーションの仕方についても民間と議論していく必要。

(石黒委員) DX、GXといった言葉は5年後に時流が変わっていることも考えられ、方針に入れることはふさわしくないのではないかと。また変化が激しい中において計画期間が5年である必要があるのか。

→DX、GX、Well-beingは、今後5年間は基本になってくるものであると認識。必要があれば途中でも見直す。また、継続性の観点から、5年程度で目標を掲げることも必要。毎年見直しできるように、PDCAを回すことを強く意識していきたい。

(丸山委員) 本日の続きを近々開催すべき。

(百瀬委員) グローバルな情報の提供や、県内企業の取組をグローバルな視点で評価する部分は県ができる内容。2019年から県が先行して取組を始めたSDGsの制度は非常に良かった。こういった取組が、グローバルな視点で盛り立てていくことにつながる。計画期間については、5年間は非常に長い。

(向山会長) 次回は年内早い時期には開催してほしい。

(北沢委員) 配布した資料について、東京商工会議所で3年間議論した内容が記事になっている。長野県でも人と情報が集まる地域になるよう、地域の魅力を引き出すことが成長への唯一の道だと思っている。